

『サーモテック 2022』にて DKK 製品紹介のご案内 ～「C V J コンセプト」「3 D プリント製加熱コイル」「波形監視装置」～

電気興業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：近藤忠登史、以下 DKK）は、5年ぶりに開催するアジア最大規模の工業炉・関連機器の展示会「サーモテック 2022 第8回 国際工業炉・関連機器展」に出展します。今回のテーマは『環境・熱・未来～サステナブル社会へ 熱技術の挑戦～』で、6月1日(水)～3日(金)に、東京ビッグサイトにて開催されます。

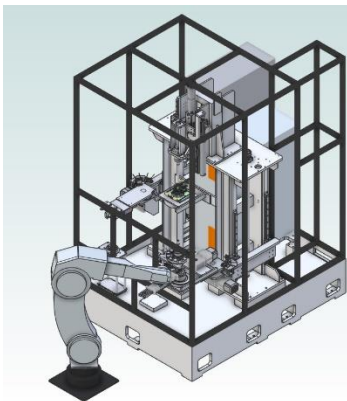
■ DKK ブースの展示内容

今回は「C V J コンセプト*1」「3 D プリント製加熱コイル」「波形監視装置」などをメインに展示します。あわせて、各種高周波誘導加熱装置のビデオやパネルでの紹介、ブース内での実演機を用いたプレゼンテーションも実施します。

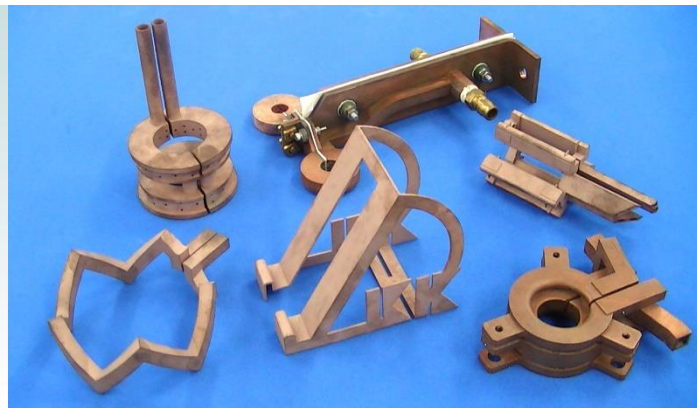
見どころは、「C V J コンセプト」です。従来のC V J 焼入設備を一層コンパクトにした新機軸の設備です。

また、3 D プリントで製作した加熱コイルや、加工したワークの良否を監視する「波形監視装置」の展示も行いますので、ぜひ当社ブースにてご覧ください。

*1：C V J（等速ジョイント）とは、自動車のエンジンの動力を車輪に伝えるドライブシャフトのジョイント部に使われている部品です。



C V J コンセプト



3 D プリント製加熱コイル



波形監視装置

■出展者プレゼンテーション開催

DKKの最新技術をプレゼンテーションにてご紹介致します。

- ① 6月2日(木) 14:50～15:40 (会場: プレゼンテーションルームA)
テーマ: 「高周波熱処理という選択肢 ～カーボンニュートラル社会へ向けた加熱装置～」
- ② 6月3日(金) 13:40～14:30 (会場: プレゼンテーションルームA)
テーマ: 「高周波誘導加熱技術の将来展望 ～解析技術と3D造形コイル～」

高周波誘導加熱はCO₂の直接排出が極めて少ない、サステナブルな熱処理技術です。高周波誘導加熱のリーディングカンパニーとして、新技術に挑戦し続けるDKKの成果をご覧くださいと幸いです。ぜひ、当社ブースにお立ち寄りいただき、ご質問やご意見をいただきたく存じます。

DKKは、今後も技術のさらなる発展に貢献していきます。皆様のご来場をお待ちしております。

THERMOTEC[®] 2022

- 会 期 : 2022年6月1日(水)～3日(金) 10:00～17:00
会 場 : 東京ビッグサイト ※当社は「南1ホール 1-C004」ブースに出展します
(出入口を入り、一番左の通路を少し進んでいただくとございます)
入 場 料 : 無料 (オンライン来場事前登録 必須)
ご来場予定の方は下記URLから事前登録をお願いします

<https://thermotec.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja/planning-preparation/visitors/onlinevisitorregistraion.html>

詳しくは主催者ウェブサイトをご覧ください。

<https://thermotec.jp.messefrankfurt.com/tokyo/ja.html>

【お問い合わせ先】 電気興業株式会社 総務部 IR・広報課

T E L 03-3216-1682

M A I L kouhou@denkikogyo.co.jp

U R L <https://www.denkikogyo.co.jp>